

Fujitsu 映像収集・蓄積・配信 ソフトウェア Futureyell VideoCaster Multimonitor



“Futureyell VideoCaster Multimonitor”は、パソコンにインストールするだけで、複数拠点のIP-9610 / IP-920 / IP-900 エンコーダーのライブ映像を一画面上で同時にモニタリングできるソフトウェアです。

特長

■ 複数拠点のエンコーダーのライブ映像を同時に表示

複数のエンコーダーからのライブ映像をPCでマルチに一覧表示できます。エンコーダーを最大60台登録でき、タブ切替えによりマルチ表示の切替えが出来ます。エンコーダーのサブエンコーダー機能により低解像度のプロキシ映像を使用することで回線帯域を抑えて複数拠点のモニタリングが可能です。

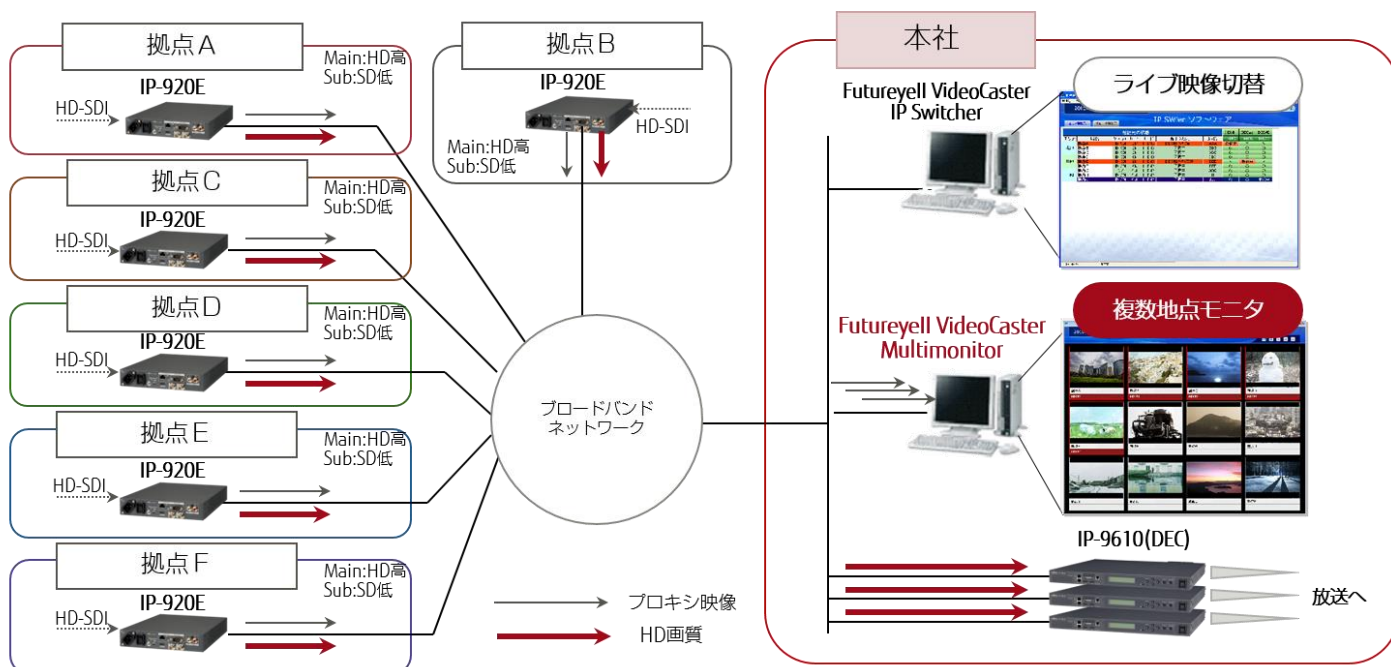
■ 配信先表示、プリセット機能などを搭載

デコーダーに配信中のエンコーダー映像を赤タリーで表示、配信先のデコーダー名も表示できるため、オンエア中の映像を一目で確認できます。

■ 映像切替ソフトウェアと併用で、より効率的な運用を実現

Futureyell VideoCaster IP Switcher と組み合わせることで、マルチ画面で複数拠点ライブ映像を同時にモニタリングしながら、重要な映像は高解像度でデコーダーへ配信する効率的な切替え運用が実現できます。

システム構成例



Fujitsu 映像収集・蓄積・配信ソフトウェア Futureyell VideoCaster Multimonitor

主な機能

■ 複数拠点エンコーダーのライブ映像表示（マルチ表示）

- 複数のエンコーダーからのライブ映像をPC画面上で一覧表示（12画面または18画面表示に対応）
- 最大60台までのエンコーダー登録可能で、タブ切替によるマルチ画面表示の切替に対応
- サブエンコーダー機能を用いて、回線帯域を抑えた15fps低解像度のストリームを利用

■ 赤タリー表示

- デコーダーへ配信中の映像に対して、赤タリー表示と配信先デコーダー名の表示が可能

■ エクスパンダ連携

- 局内で複数のマルチモニタを運用される場合は、当社エクスパンダ（ライブ映像の中継・分配サーバソフトウェア）を設置する事により、お客様 WAN回線へのネットワーク負荷を軽減する事が可能

画面例



商品体系／動作環境

1) 商品名 / 型名	Futureyell II VideoCaster Multimonitor V4 / 型名 : A514CDLR	
2) 対応OS	Microsoft(R) Windows10 (64bit)	
3) ハードウェア		
a) プロセッサ	Intel(R) Core i3-8100T(3.10GHz/4コア)以上	
b) メモリ	8GB以上	
c) グラフィックス	Intel HD Graphics	
4) 対象IPシリーズ	IP-9610	V02L007
	IP-920, IP-900	V02L060

● 製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

富士通株式会社

お問合せ先：富士通コンタクトライン 0120-933-200

受付時間 9:00～12:00および13:00～17:30（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

2022年9月 第4版